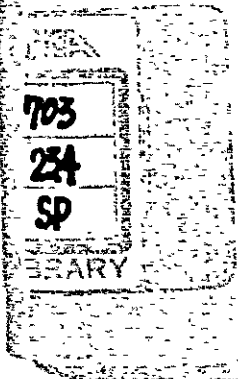


バルゼア・アレグレ移住地の概要

洋



LIBRARY



1024454[9]

昭和49年12月

国際協力事業団

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 20	703
登録No. 13192	23.4
	SP

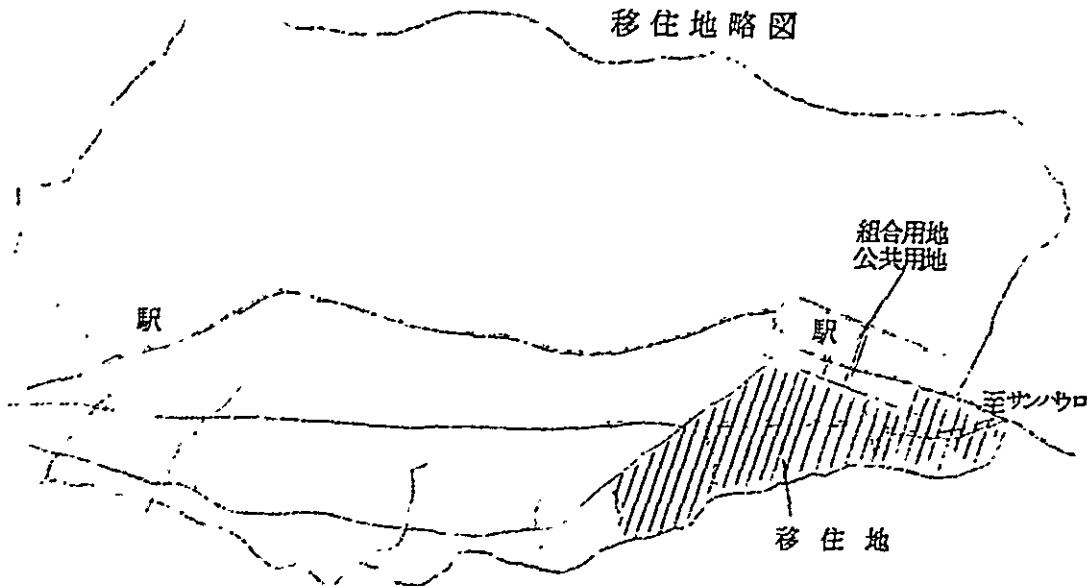
バルセア・アレグレ移住地の概要

1. 所在地

ブラジル国マツト・グロツソ州テレーノス郡
 S20°26' . W55°00'。カンボ・グランデ市から陸路西方へ
 60km。

※

移住地略図



移住地への鉄道



サンパウロ 事務所

バルセア・アレグレ 移住地

テレーノス市

カンボ・グランデ市

カンボ・グランデ市

2. 移住地管理者

農業協同会 農業部

3. 入植の経緯

昭和32年、邦人自営農受入地として、旧海外移住振興株式会社が購入造成した移住地である。

入植は昭和33年から開始され山口県の人が多い。当初は、陸稻およびバナナを中心とした営農に従事したが、旱魃などにより思わしくなく、その後養鶏を導入し、柑橘、パインアップルなどの果樹と組み合わせての経営は順調である。

4. 自然環境

(1) 地形

北部は平坦、南部は緩傾斜丘陵地、南部境界には3~4m巾の小川がある。

標高450m前後。

(2) 地質・土壌

主として、砂壤土、砂質土(セラード地帯)で、北部の大部分は半砂漠状を呈するが、入植者が居住する南東地区はテラ・ミスタ(テラ・ロツヤよりやや劣る)で、比較的肥沃である。

(3) 植生・林相

いわゆる草原灌木地帯(カンボセラード)である。原始林や再生林が散在するも、有用材は乏しく、草生地帯も少ない。

(4) 気候

年平均気温24.7℃。最高平均気温34.0℃、最低平均気温10.0℃、降雨量 年1,313mm。雨期10~3月、乾期4~9月、雨期、乾期の区別は比較的明瞭。

5. 社会環境

(1) 地区内道路

土道であるが良好。

地区内に国道BR262号(アスファルト)が通っている。

(カンボグランデ～アキダウアナ)

(2) 交通

鉄道はノロエステ線の駅が地区内に2カ所あり、カンボグランデ市まで約1時間、テレーノス市まで約30分。
/日2便。

カンボグランデへのバス便は、/日7便あるので、日常の生活物資調達にはこれを利用している。また、自家用車が多いので(普及率60%)、この利用も盛んである。

カンボグランデ市からサンパウロ市まで約1,000km。
鉄道、バス、航空機の便あり。

鉄道は毎日2～3回、30時間。

バスは夜行便含めて毎日6往復、/3時間。

航空機、毎日2本、時により3本、/時間半。

(3) 電気・飲料水

<電気>

現在、まだ導入されていないが、導入のための調査が行われている。

<飲料水>

入植者は普通の井戸利用。

公共用地ならびに市街地にある組合用地の事業所、学校、組合などは、鉄道用水道を借用利用中。

(4) 医療・教育

移住地内には医療機関はない。

カンボグランデ市にカトリック教団経営慈善病院(サンタカーザ)、私立病院および事業団特約医(日系)あり。

移住地内に小学校 / 校 (事業団建設)

教師 2 名、4 年生まで。

中学校、高等学校、大学は何れもカンボグランデ市にあり、通学または寄宿している。

(5) 治安

良好。警察署はテレーノス市にカンボグランデ警察署の分署あり。

裁判所はカンボグランデ市にあり。

6. 入植状況

(1) 総面積 36,363 ha
/ ロツテ 25 ha

(2) 分譲条件および価格

一括払または分割払

分割払は、4 年据置 5 年均等払。

ただし、土地代に全期間年 / 2 % の利息を加算する。

/ ロツテ (標準 25 ha) 65 万円相当伯貨額

分譲可能面積 24,500 ha

(3) 入植戸数

36 戸 (昭和 48 年)

7. 流通と営農

		(人口)	(移住地から)
(1) 消費都市	テレーノス市	4 千人	20 km
	カンボグランデ市	20 万人	50 "
	クヤバ市	15 万人	650 "
	サンパウロ市	750 万人	1,000 "

(2) 営農

ア. 主作物

養鶏 約 20 万羽 (移住地計)

柑橘

花

パインアップル

トウモロコシ など

イ. 営農状況

養鶏専業農家が殆んどで、一部蔬菜、果樹を組合わせた複合経営を営む。昭和47年度における1農家当り耕作面積平均は、普通畑2.9ha、樹園地2.0ha、鶏所有羽数 雛576羽、成5,247羽、農業粗収入平均8,219千円、農家所得1,743千円。

※

農業依存度80%、家族労働人数平均27人である。

ウ. 農機具普及状況

昭和47年度において、農家1戸平均次の営農用農機具を有している。

発 動 機	0.6台
動力噴霧機	0.5 "
耕 転 機	0.4 "
運搬用機械	0.6 "
トラクター	0.6 "
発 電 機	0.6 "

エ. 営農指導機関

地区内には特にないが、農協が養鶏専門の取扱いをしているので、加盟農協のサンパウロ農協中央会より養鶏専門技師を招き、指導を行つている。

カンボグランデ市ならびにカンボグランデ~テレノス市間にIPEAO(西ブラジル地域農業試験場)がある。

オ. 利用金融機関

伯 銀	(カンボグランデ市)
州 銀	(")
市 銀	(")

当調査対象外

Handwritten mark

8. 農協など

バルゼア・アレグレ産業組合（法定。昭和37年設立）があり、全戸がこれに加入している。

主な業務

鶏卵販売事業（年間取扱高 2,800万ダース）

飼料供給事業（年間取扱高 6,100t）

事務所はカンボグランデ市にあり、移住地には購買部（日用品販売）、飼料工場などがある。

9. カンボグランデ市

畜産物の取引き、織物や食料品等の軽工業、商業、金融業の中心地となつてゐるが、州立総合大学もあつて、文化都市としても着々その歩を進めてゐる。

約1,000戸の邦人が居住し、商店、製造業などのほか、二世は医師、弁護士、教師、市会議員等、広い分野にわたつて進出している。

10. 移住地周辺の農業

本移住地の所在するマツト・グロツソ州は、先進諸州サンパウロ、パラナ州に接しているが、その位置的、歴史的背景から、開発は遅れた地域である。

3,000万haの可耕地のうち、2,800万haは自然林、未耕地または自然の放牧地であり、農地として活用されているのは220万ha、可耕地の10%にすぎない。（1960）

農牧地としての未利用地がまだ無限に残されているといつても、過言ではないこの地方に対し、連邦政府はPRODO-ESTE（中西部開発計画）などの開発計画をたて、インフラ面における整備を行い、農牧業の振興を計ろうとしている。

以上

バルゼア・アレグレ移住地位置図

